

国際人間学研究所シンポジウム 2023年2月10日(金)
 持続可能な観光2022年度 ポスター発表
 (於: 中部大学: オンライン開催) 服部穂歩 柴田雄亮
 岡部舞子 古川郁哉
 古川穂高 末田智樹

飛騨高山の歴史観光都市としての
 伝統を支える人々が暮らす社会空間
 研究プロジェクト

東海地方の豪商のまちと持続可能な観光
 —高山市・美濃市・松阪市—

図1: 5都市の位置関係

目次

【1】はじめに
 【2】松阪市と豪商のまち
 【3】美濃市と豪商のまち
 【4】高山市と豪商のまち
 【5】おわりに
 —持続可能な観光に向けて—

写真1 高山市役所前(2022年度) 写真2 高山市役所前(2021年度)
 (岡部さん・服部さん) (古川君・小嶋さん・岡野さん)

【1】はじめに: 1~4年目の蓄積と本年度の問題設定

(1) 飛騨高山の歴史観光都市・視点・キーワードの設定
 ①天領(1・2年目)・倉敷市、日田市、甲府市との比較
 ②産業(1・2年目)・醸造業、木工業、工芸品、観光業
 ③城下町(3年目)・岐阜県・愛知県との比較
 ④豪商のまち(4年目)・岐阜県・三重県との比較

(2) 他の観光都市との比較
 ①3年目・郡上市と犬山市一城と城下町
 ②4年目・美濃市(和紙)と松阪市(木綿・肉)→豪商と産業

(3) 「持続可能な観光」の視点
 ①SDGs 未来都市・世界の持続可能な観光地TOP100選
 ②目標12・地域文化・産品を活用した持続可能な観光
 ③地域の社会経済・文化・環境への影響に十分配慮した観光
 →行政・住民・事業者・課題の把握と取り組める分野から

【2】松阪市と豪商のまち (1)観光化の経緯と現状

①観光のまちへの変貌・2010年「松阪まちなか再生プラン」策定、2011年「松坂城跡」国史跡指定
 ……2012年「松阪市観光戦略会議」設置、2013年「松坂城跡文化セミナー」開催

②2014年…「豪商のまち松阪」活ききプラン」策定
 ⇒観光交流拠点施設等整備事業に係る基本構想調査・基本計画策定業務公募型プロポーザル

③2016年4月〜翌年3月まで「豪商のまち松阪プロモーション事業計画」

④2014年・2018年「松阪市観光振興ビジョン」…観光計画

⑤2021年「松阪市観光振興ビジョン」…現地調査先として今後に期待
 ・キャッチコピー「豪商のまち」…江戸時代から商人町としての歴史
 ・豪商の歴史文化施設、歴史文化関係の資料館の整備
 ・城跡の歴史文化施設の整備
 ・観光事業の中核の拠点である「豪商のまち松阪 観光交流センター」の整備

高山・日田・郡上・美濃市⇒重伝建なし・戦後以降の商店街化と3つの百貨店で1960~1980年代黄金時代

写真6 松阪のちのち子取りセンターの案内板 写真7 市内の観光案内板 写真8 市内の道案内板
 写真9 豪商のまち松阪観光交流センター 写真10 市内の観光案内板

【2】松阪市と豪商のまち (2)豊富な歴史文化施設

①旧小津清左衛門家 ②旧長谷川治郎兵衛家 ③原田二郎旧宅 ④御城番屋敷 ⑤松坂城跡
 (県指定有形文化財) (国指定重要文化財) (市指定有形文化財) (国指定重要文化財) (国指定史跡)

写真11~13 写真14~16 写真17~19 写真20~22 写真23~25

歴史民俗資料館 本居宣長記念館

⑥三井家発祥地 (市指定史跡) 写真26~29

【3】美濃市と豪商のまち (1)地域活性化への取り組み

●仮説として…歴史文化観光地帯として調査…「美濃和紙とうだつの町並み」が可視化
 □1995年3月3日指定…「美濃市美濃町重要伝統的建造物群保存地区」
 ⇒広域観光地帯・長良川鉄道沿線・市街地・郡上市など

□2012年度「美濃市歴史の風貌維持向上計画」…2011~2020年度(10年間)
 □2014年11月に和紙・日本の手漉和紙技術として本美濃紙

①A美濃市美濃町 重伝建地区の長所 写真30~42

長所: ①重伝建家町として高山以上の町並み保存と自然環境
 ②美濃和紙の豪商宅としての統一感
 ③案内板(案内標識)・説明板の充実
 ④美濃和紙関係の観光施設の充実
 ⑤旧住宅・景観と溶け込む一般商店

【3】美濃市美濃町 重伝建地区の短所

短所 ①長良川鉄道美濃市駅(国登録有形文化財)とその周辺の整備・郡上市と同様
 ②歴史文化系の資料館の少なさ・旧今井家住宅・美濃史料館(市指定文化財)のみ
 ③見学できる旧住宅の少なさ・旧今井家住宅・美濃史料館
 ……小坂家住宅(国指定重要文化財)
 ④機能的不是な観光案内所 ⑤若者向けの飲食店・土産店・土産物の少なさ
 ⑥豪商宅の宿泊施設

写真43~59

◎重伝建地区 名産 ◆美濃紙(国指定重要文化財) ◆有知湊(県指定史跡) ◆住吉灯台
 ◆小倉山城跡(市指定史跡) ◆図書館や大型駐車場隣接
 ◆旧名鉄美濃町線美濃駅(国登録有形文化財) ◆野口五郎

(2)美濃和紙と美濃和紙の里会館・あかりアート展

●美濃和紙
 ①本美濃和紙・保存会の会員が一定の要件を満たした伝統の製法で漉いた和紙
 ②本美濃和紙は国の重要無形文化財
 ③後継者育成・美濃・手漉和紙基礎スクール
 ……育成を目的に美濃和紙の里会館が開設
 ……全国から募集して職人の生活を体験
 ……有料化することで希望者の本意度を量る
 ……現在、この企画により育成事業は円滑

③一方では、近代的大規模建築と和紙工場の登場
 ……「大層紙」工業用資材
 ……美濃市が世界に誇る工場資材
 ④2014年美濃和紙の「ユネスコ無形文化遺産」
 ……これを受けて2016年に「観光課」から「美濃和紙推進課」への名称変更
 ……「観光推進係」と「美濃和紙推進係」
 ⇒地域ブランドの向上と保存・継承が目的

●美濃和紙の里会館
 ①1994年に市営60周年記念として博物館の開設
 ②場所…市街地から遠方・紙漉き職人町の地区
 ③歴史や製造工程の紹介と企画展・紙漉き体験

●美濃和紙あかりアート展
 ①1994年から毎年10月から11月に開催…29回
 毎年全国各地から応募・大学(学生)も多数
 ②宣伝方法
 ……当時から市役所職員が新聞社を訪問、また市内外の関係施設、道の駅、高速道路SA、美術系の大学、近隣市町村の市庁舎等へのチラシを配布し、募集を宣伝
 ③市役所による様々な企画でPR
 ……例えば美濃和紙あかりアートの貸し出し
 ……毎年、豊川稲荷東京別院にあかりアート展の貸し出しを行っている
 ……また、設置等に市役所から職員等の派遣

写真60・61 美濃和紙あかりアート展の展示と作品 写真62 美濃和紙の里会館で買った美濃和紙 写真63・64 美濃和紙の里会館(岡部さん・服部さん)と会館内の紙漉き体験施設 写真65・66 町並みに並ぶあかりアート展の作品と美濃和紙あかりアート展の展示作品

(3)持続可能な観光に向けた取り組み (その1)

●うだつの町並み散策マップ(写真67~70)
 美濃市駅前やうだつの町並みなど7か所に設置

マップが出ると、次アイコンをタップすると店舗の写真や情報が登場

QRコードを読み込む

◆市役所の美濃和紙推進課に聞き取り調査
 (1) 美濃市から重伝建地区までの行き方の案内について
 ……駅前からうだつの上がる町並みの観光案内板
 ……その看板に掲載されているQRコードを読み取ると、スマホで町並みマップをみる事ができる
 (2) 美濃市の観光に関するプロモーション戦略について
 ……岐阜県観光連盟サイトでの情報を充実化やSNSでの発信、美濃市ドローン空撮大会、PR動画のYouTube上で公開するなど
 ⇒目立たない形で進めることも持続可能な観光の推進

■市役所は市民が輝くような地ならしをする
 ■うだつの町並みのかつきよから若者が訪れる
 ■地元住民も輝くようなイベントづくり

Googlemapにも対応

(3) 持続可能な観光に向けた取り組み (その2)

●世界の持続可能な観光地TOP100選・市役所的美濃和紙推進課に聞き取り調査

①長良川流域文化

- 岐阜市・美濃市・関市・郡市で協議会を設置・長良川を軸とした市町村の行政をなくして横の連携
- 美濃和紙がユネスコに選ばれて県や国の支援を得られるようになった
- 長良川流域文化が2021年の「世界の持続可能な観光地100選」に選出
- Green Destinations(国際認証目的)の重要な30項目のうち15以上の項目に対する高評価が得られ入選
- 世界に認められた持続可能な観光地

②REDDATABOOK (レッドデータブック)

- NPO法人ORGANの制作・ORGANとは長良川流域の持続可能な地域づくりを支援する団体
- 長良川流域文化を中心に漁業・工芸・芸術と、この地で共に生きる生活文化全体を取り上げている
- 美濃市ではもちろん「美濃和紙」が取り上げられている
- 美濃和紙を材料とする工芸品が数多い・岐阜和傘や世界的名画、バイオリンの修復に使用
- ホームページでREDDATABOOKの閲覧・しかしまだまだ冊子や団体の認知度が低い
- 「長良川流域独自の文化を未来へ」

出所) <http://organweb.sakura.ne.jp/reddatabook/reddatabook2022.pdf>

[4] 高山市と豪商のまち (1)にぎわい交流館の開館

①行神橋の開通

- 2020年7月の開通
- 宮川朝市通りから行神橋周辺に人の流れを誘導
- 本町(3丁目)商店街や周辺エリアに誘導する整備

②にぎわい交流館のオープン・高山市本町4丁目・番地

- 2022年4月11日に「賑わい創出施設」として開館
- 大正末期建築の町家「旧大政政務所」を改修・整備
- 観光客や市民の休憩、情報発信、まちゼミ・学生等
- 開館時間：9:00～21:30、休館日は年末年始
- 定員40名、トイレは24時間年中無休、FAX/E-MAIL等
- 「飛騨高山にぎわい交流館 大政(ごいまさき)」の期待される効果と今後の展開

③交流館の周辺施設

- 中心市街地の活性化とまち歩きを楽しむを高める
- 宮川朝市通りから本町商店街へのルートを整く
- 商店街から下町の重伝建・屋台会館へのルート
- 駐車場の整備、下町の古民家の活用
- 飛騨朝分寺、飲食店・宿泊施設、市役所等へ
- 地元住民・観光客・観光事業者の活用

(2) 静かな魅力を醸し出す「下町」：観光スポット「上町」との比較

●現在の下町：重伝建地区(2004年7月指定)

(1)より深く高山を楽しみたいという客層のみが訪問

(2)昔ながらの居住空間が残る地域の人々の生活の場

→建物の構造が昔のまま残され、利用され続けている

→人々の生活を活かした観光を実施可能(ex.白川郷)

(3)観光地として上町より「未開発」で発展の余地が大きい

→古民家再生と生活活用

●現在の上町：重伝建地区(1979年2月指定)

(1)観光客の大半が訪問する高山観光の中心地

(2)土産物店など観光地としての開発は十分

(3)空間的に観光地としてさらなる開発は困難

→今は地域との連携が重要

●下町の今後

- ①「人々の生活」を活かした観光地としての開発
- ②地域の魅力発信の拡大、観光客受け入れ態勢の拡充
- ③観光による下町の地域活性化

●上町にない魅力を補う形での下町の観光開発

→下町と上町が互いの魅力を相互に補充

→2つの重伝建地区の異なる魅力による

国内外に向けたより一層の持続可能な観光地としての魅力発信

(3) 回復する外国人観光客と課題

●高山各地の現状

(1)上三町、宮川朝市

- コロナ禍以前には及ばないが概ね回復
- 欧米・アジア系など世界各地から観光客が訪問

(2)日枝神社

- アジア系(韓国・中華系)が多数訪問する一方、欧米系は訪問せず

(3)東山寺院群

- コロナ禍以前は欧米系中心、アジア系は訪問せず
- 2022年秋以降でも外国人観光客の減少状態は続く
- 後継者問題もあり複数の寺院が館内・庭園観覧停止
- 再開の目途はたっていない状況
- インバウンド需要回復期に観光客受け入れ体制に課題

●インバウンドという観点からみる高山の現状と課題

- 外国人観光客が戻り始め、インバウンド需要は回復傾向も、上三町を中心とするエリアに限定
- 地域ごとの外国人が感じる異なる魅力はコロナ禍前と同様に維持、一部では観光地として衰退傾向
- コロナ禍前に開出した観光客受け入れ体制の解決が急務

●更なる持続可能な観光のために

- ①「三町以外に観光客を呼び込むための施策」
- ②観光・観光地への活性化とより一層の連携
- ③衰退傾向にある観光地の活性化

(4) 高山ラーメン (その1)：高山ラーメンの定義と人気店

①高山ラーメン(中華そば)の定義と人気店

その1：基本は平打ち麺がスタンダード(オリジナル種)

その2：基本の具はネギ・チャーシュー・メンマの3種類

その3：寸胴鍋スープで割らない、醤油ラーメン

→飛騨高山中華そば伝承会：技術の伝承・保存と知名度向上

→高山麺類業組合：2020年に組合創立80周年記念として、スタンプラリー開催、春の高山祭から秋の高山祭までの期間で30店舗めぐり

写真94・95 普通の雰囲気のお店の高山ラーメン店

写真99 麺屋しらかわ前の行列

写真100 まきそば前の行列

写真96・97 グルメガイドの説明板

写真98 中華そばマップ

→市街地の至る所にグルメガイド(案内板)の掲示

→市民向けの「中華そばマップ」がタウン誌に掲載

写真101 豆天前の行列

→開店前から長い列をつくる店舗が7〜8軒

→一方、他店の前や歩道を塞いでしまうこともある

→中華そば屋の雰囲気や高橋・豪華な看板、店先

→100年以上続く地域の特産が観光に活かされている

→一方、地域住民以外が押し寄せることの弊害

写真102・103 オシャレ系・派手な看板の高山ラーメン店

(4) 高山ラーメン (その2)：店舗の立地状況

②高山ラーメン店の立地状況と商品(通販)展開

- 駅前や商店街に加え、上町の重伝建地区に数多く立地
- 昭和初中期からの老舗と平成期や令和に入って開業の店が混在
- それぞれの店舗が個性を活かして盛り上げている
- ラーメンのみを専門とした店から、ラーメンを取り扱っている程度の店まで様々
- 人気の飛騨高山ラーメンセット商品のお土産店での販売
- 積極的な通販での展開・市内のスーパーでも販売

写真104 昭和23年創業のまきそば(角店)

写真105 昭和13年創業のまきそば

写真106 昭和23年創業の豆天前本店

写真107~109 高山上町にある高山ラーメン店

図2 高山市街のラーメン取扱店の立地(Googleマップに加工)

(5) 冬のイベントの「二十四日市」と「酒蔵のん兵衛まつり」

①伝統工芸品の販売

- 1日限定から長く伝統的
- 1日限定から長く伝統的
- 1日限定から長く伝統的

②コロナ禍での開催状況

- 2021・22年は歩行者天国にせざるに規模縮小し開催
- 飲食店の出店は中止→2023年は以前のように回復
- コロナ禍以前に現在

③2022年は当り、1月28日(金)〜3月6日(日)で開催予定

- 1月21日(金)から岐阜県・まん延防止等重点措置の適用地域
- 2月14日(月)〜3月6日(日)に延期
- 3月7日(日)〜3月27日(日)に再延期
- 6月10日(金)〜7月3日(日)にようやく開催

④第1回飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり

- 開催時期：2023年1月初旬に予定

写真111・112 2020年1月24日

写真113・114 2022年1月24日

写真115~117 2023年1月24日

写真118 平瀬酒造店

写真119 原田酒造店

写真120・121 二木酒造

写真122・123 2000・22年度

[5] おわりにー持続可能な観光に向けてー

(1) 2022年度のとらめ

- ・高山市・持続可能な観光と歴史文化
- ・美濃市・持続可能な観光と産業
- ・松本市・観光地化・2010年代開始
- 周辺に観光地と近鉄・JRの活用

(2) 4年間の総まとめ→高レベルの高山市

- 自然人文の地域資源から観光資源化
- ①四季や歴史文化の活用
- ②市内を中心として弱点を徐々に補う施策→「高山市SDGs未来都市計画」
- 持続可能な観光に導くために何が必要か
- ①各地域の行政・地元住民・観光客・観光事業者の相互関係
- ②持続可能な地域社会づくりと地域主体「観光まちづくり」の位置づけ

図3 5都市の特色と関係図

図4 東海地方の地産産業を活用した観光地域再生モデル(仮説)

写真124 2021年度の歴史地理学科の参加学生

写真125 2022年度の歴史地理学科の参加学生

飛騨高山の歴史観光都市としての伝統を支える人々が暮らす社会空間研究プロジェクト

東海地方の豪商のまちと持続可能な観光：高山市・美濃市・松阪市

中部大学人文学部歴史地理学科 2年 服部稜歩・柴田雄亮・圖師舞子・古川郁哉

中部大学人文学部歴史地理学科 OB 古川穂高

中部大学人文学部歴史地理学科教授 末田智樹

自由懇談

- ?? あなたはどこら辺をやりましたか。
- 学生 私らは全体的にやってきたんですけど、ただ、この辺だけちょっと私らじゃないです。
- 学生 美濃市は、特徴として美濃和紙とかがあります。
- ?? 和紙ですよ。うだつの上がる町並みとかね。
- 学生 そうです。うだつの上がる町並みとかあるんですけど、あまり大々的にはやっていないんです。
- ?? 名前は聞くけど、行かないよね。
- 学生 行かないですよ。行きにくい。
- ?? そうそう。何かちょっとそれだけ見に行くのはね。ちょっと微妙に遠いし。
- 学生 鉄道とかも不便で。
- ?? そう。車で行けばいいんだけどね。
- 学生 私たちも聞き取り調査に行くまで知らなかったんですけど、長良川流域文化の中で、持続可能な観光に向けた取り組みがあるんです。長良川が流れている岐阜市と美濃市と関市と郡上市で仲よくしようと。
- ?? 川の流域だから、お互いに契約し合ったりとかね。
- 学生 伝統産業とかを。
- ?? 関だったら刀とか。そうだね。郡上へは、義理の弟なんかがよく釣りに行くよ。長良川でアユを釣ったりするの。
- 学生 よく釣っている人を見ます。
- ?? 投げ方は知らないけど、楽しいらしいですよ。
- 学生 私は釣り好きです。三重県の伊勢湾ですけど。
- ?? 伊勢湾で。そうなの。こういう話はなかなか見る機会がないから。流域だとかね。
- 学生 それをまとめたレッドデータブックというのがあるんです。流域文化のつながりをあらわしたような。
- ?? ほう。美濃和紙の提灯なんて、知らないな。
- 学生 確かに。私もそこはちょっとわからないんですけど、美濃和紙はいろいろ使われているみたいで。
- ?? 近い岐阜県内ですから、そういうつながりがあるということですね。一つのところで完結しなくてお互いにというところはおもしろいね。
- 学生 高山については、新しく橋ができたらしくて、行神橋（ぎょうじんばし）っていうんですけど。
- ?? 知らなかった。赤い橋は有名ですよ。
- 学生 そうですね。あれよりも大分下側に。朝市につながるぐらいというか。

- ?? 観光地ではないね。
- 学生 そうですね。上三とかとは大分ずれているので、そこにちょっと目をつけてみたところがあって、人の誘導がどうなっているかを見たかったんですけど、まだまだ全然通っていないねという話をしています。
- ?? 全然人が通っていませんでしたね。
- 学生 ほぼこの状態です。
- ?? ああ、この状態か。赤い橋だったらものすごい人ですよ。みたらし団子があったりとかして。
- 学生 そうなんです。
- 学生 でも、この橋のこの辺に大政（だいまさ）っていうのがあるんですけど、休憩したりとか、あと市民の場所とかになっていたりして結構いいんですけど、なかなか。
- ?? 観光客じゃなくて、地元の人が使っているという感じで。
- 学生 そうですね。
- ?? ちょっと車で行ったりして。
- 学生 橋がかかった割には、なかなかうまくいっていないのかなという感じがしました。
- ?? 高山でも、上町のほうはすごく行くけど、ちょっと離れると人が集まりませんよね。
- 学生 そうなんですけど、この下町に着目することにして、やっぱり下って上よりもお客さんが大分少ないじゃないですか。でも、この下があることで、生活の場になったり、町が残ったりとかする。上三町みたいな感じになると、全部あれだと逆にちょっとまずい。
- ?? 確かに。観光地過ぎる。行くと、お店しかない。ここは飲食屋、ここは酒蔵、ここは土産物屋みたいな感じでうるさいですよ。人が住んでいるところはなさそうだ。
- 学生 ちょっと住むのには適さないという感じがあるんですけど、やっぱり下は、発展の余地は多いけど、でもいいところでもあるのかなということがあるんです。
- ?? そこで古民家の再生をして、カフェをやったりとか、民宿みたいなものを作ったりとか、ちょっとずつそういうものができてくると、近くにいったときに、ここにも行ってみようかなみたいにつながってくることもあるよね。
- 学生 上町との違いがあるというのはいいことだなとは言っています。
- ?? こんなに全然いないんですね。
- 学生 本当に人はいません。
- 学生 たまに外国の観光客の人が団体で来るぐらい。
- 学生 上町に比べると、すごい差ですね。あれで外国人の観光客はどんなのかなということで、私らは2年なので、去年以前は見えていないんですけど、やっぱりちょっとずつ回復しているのかなと。私らが行ったときには欧米系が多かったです。
- ?? 中国の人は来ないでしょう。
- 学生 そうですね。結構ヨーロッパ系が多いイメージがあったんですけど、この辺はそれこそ今日来られなかった古川さんが調べてくれて。
- ?? 頑張ってやっていたからね。
- 学生 これは調べてもらったんです。ちょっとずつ外国人も出てきていることは出てきているけど。
- ?? ゲストブックに書いてあったことは、やっぱりそうなのかな。見て来る人もいると。

- 学生 でも、まだちょっとずつ限定されていたりするので、やっぱり課題かなという感じはするんですけど。
- ?? じゃあどうしたらいいのか。
- 学生 どうでしょうか。まだ何となく時期的な問題はあるけど、でも、このまま高山がそもそも衰退していったら何の意味もないので。そうすると、コロナがある程度下火になったときにも外国人は戻ってこないということがあるのかなと思って。
- ?? そもそも人口が少ないし、住んでいる人がそんなに増えることは期待できない。
- 学生 やっぱり高山そのものを衰退させないということが必要なのかなと。
- ?? 観光客も、コロナが終わったらパッと回復するかと思ったら、そうでもないみたいですよ。1回シャットダウンしちゃって、いっぱい人も行っちゃって、だから人手がないという問題もやっぱりあると思う。
- 学生 上町とかだと、もともとすごい人がいるところなので、これをきっかけにもう一回観光を考え直すっていうか。
- ?? いい機会ですよ。
- 学生 ものすごくオーバーツーリズムになってきていたところを考え直すことは必要なのかなと。
- ?? そうですね。こういう混んでいないところもあるから。
- 学生 下のほうとか、周辺の違うところの魅力を出していく。
- ?? それは、例えば行政も、混んでいるところだって、むしろそういうところは規制していかないと、自分たちの自助努力では多分難しいと思う。もうここの店はいっぱいだからこっちへ行ってくださいとか、またこういうところに古民家を使って提供しますとか、そういうことじゃないと、自助努力でやるのはなかなか難しい。そういう行政の働きかけもありますよね。オーバーツーリズムは、そもそもそこだけすごく車が混んで危ないので、そこをちょっと何とかするといいのかもしれない。
- 学生 あと、私らは高山ラーメンをちょっと調べようという話になって、定義はこの辺で、細麺のっていう。
- ?? そうですね。これは全部行ったことがあります。
- 学生 すごい。麺屋しらかわって、ありますか。
- ?? あ、そこは行ったことない。そこがいいんですか。
- 学生 すごい並んでた。
- ?? 麺屋しらかわね。
- 学生 具材がシンプルじゃなくて。
- 学生 これですね。めちゃくちゃ並んでいるんですよ。
- ?? すごいね。ここら辺はすごいシンプルだね。お店としてもすごい素朴で、お茶がおもしろい。
- 学生 ここも、私らが行ったときこの行列だったので、あまりかかわることができなくて。
- ?? 去年の夏か一昨年の夏かに行って、ここで食べました。おいしかった。そんなに混んでいなかった。
- 学生 おいしいですよ。

?? 麺が独特です。すごいシンプルだけど、おいしい。そうか。ラーメン屋もみんなで手分けして回ったんですね。

学生 そうですね。食べていないけど、一応これだけ回りました。

?? 写真だけ撮って。

学生 そうです。

?? すごいね。

?? ちょうど来週行くんですよ、うちの羽後ゼミのメンバーで。羽後さんも含めて、どこへ行こうかと言って、この影響で、じゃあ高山にしよう。

学生 そうなんですか。

?? だから、泊まりも、ちょうど三町の中に HOTEL WOOD ってあるの知ってるかな。

学生 ちょっと知らないです。ごめんなさい。

?? 結構感じがいい。朝飯しか出ないんだけど、この並びの味の与平って知らないかな。造り酒屋のあれ。

学生 今回酒屋はちょっと。先生と前年度までなんですよ。

?? そうか。どっかに地図があったな。これが陣屋か。それで、これが三町通りぐらい。

学生 その辺がそうですね。

?? 僕が幹事だから、一生懸命とったんですよ。どうせならちょっと古びたところで、日本酒をと。だから、ここが日本酒の造り酒屋だから、一応何種類かのお酒を飲み放題ってことになっとなるの。去年の秋も久々にここへ行ったんだけど、そのときはこの宿で。平野屋というところがあるんです。今回は、やっぱりできるだけ古民家風のホテルっていうことで探したら、ちゃんとあるんだわ。

学生 さすが高山ですね。

?? だから、今一生懸命見ておったの。来週行くからさ。何か1個ネタがないかなって。わかるやろ。

学生 わかります。

?? 実はここはねとかって物知りげに言うと、やっぱり格好いいじゃん。来週使わないかんから、何か仕入れておかないかんと思って。

学生 この辺はもうちょっと下のほうなんですよ。新しい橋がかかったという話から始まって。

?? ここって、三町通りのほかに、八幡神社の豪農のところのほうがこれなんだよね。あ、違うか。こっちのほうだよ。

学生 この辺。

?? そうそう。ここが八幡神社で、屋台会館が。

学生 はい。

?? 詳しいでしょう。俺、幹事だから、すごいここを調べたから。

学生 櫻山八幡宮。

?? そうそう。日光東照宮のミニチュアがあるって。

学生 ああ、ありますね。あったあった。

?? 行ってきましたか。

学生 行ってきました。

?? じゃあ、屋台会館とかも。

学生 はい、行きました。

?? その反対側にあるよね。向かい側というか。そうかそうか。やっぱりちゃんと調べてきておるんだ。俺、個人的には、せんべいを焼くっていうのがあるじゃない。やってきましたか。400円で体験というやつ。

学生 へえ。

?? せんべいの生を焼くやつを、400円出すと8枚持って帰れる。せんべい焼き体験コースっていうのがあるんだよ。

学生 へえ。

?? 知らんのか。

学生 ありがとうございます。次に行ったらやりたい。

?? 俺、それは知らなかったもんで、調べたら出てきたから、時間があればできるだけみんなで行きたいなと思っておるんだけど。時間があればな。

学生 結構私らも急いで回っていたので。

学生 行きにくいところだから。

?? 高山も観光をやって結構成功してるよね。ほかのところはこんなに成功していないから。宮川の朝市でもさ、最近結構にぎやかだもんね。いつときはほとんどなかったんだよ。

学生 そうなんですか。

?? もうこの年だから、僕は出身が富山だから、大体高山を通るんですよ。昔は高速道路がなかったから、41号線で。泊まらずにちょこっとだけ寄って田舎に帰るので、この40年間ぐらいの高山の変化なんかをずっと見ていると、もう全然違ってくる。さっき報告にあったとおり、やっぱり努力しているのが雰囲気わかる。それで、来週行くんだけど、何かいいネタはないかな。

学生 ネタですか。

学生 ラーメンとかって行きますか。

?? ラーメンね。

羽後 これ、来週行くのの勉強になりますよね。

?? 来週行くから、何かいいネタはないかって、今聞いているんだけどさ。

羽後 どこかおいしいところを教えてください。

?? そうしたら、今ラーメンという話が出たの。

羽後 高山ラーメンは有名ですよ。

?? ラーメンだと大分お金が還元できるよ。それはそんなに予算とらないもん。

羽後 1回ぐらいはラーメンでもいいけど。次の日の昼とか。

?? 予想では恐らくみんなもつとようけ食べるだろうと思っておったから、もうちょっと会費を上げておいたので。

学生 私らもいろいろ食べたね。昼ご飯はラーメンを2日食べて。

?? 飛騨牛は。

学生 飛騨牛は夕飯でしたね。

学生 朴葉みそも食べました。

羽後 やっぱり飛騨牛をがつつり食べなきゃ。本場なんだから。

?? そうそう。

?? えっ、がっつりですか。

羽後 だって、名古屋だとスライスだけど、本場だから。10年ぐらい前、私のゼミ生の男の子のおじいちゃんが飛騨牛の開発者で、ゼミでパーティをやると思ったら、どーんと1キロぐらい送ってきてくれて。もう信じられないという感じ。

?? 量が倍とかっていって、見ると80グラムしかないの。一応飛騨牛のすき焼きのお店に予約は入っておるんだけど、倍でこんなもんかと。

羽後 80グラムというのは少ない。

?? 追加はできるから、もう追加したほうがいいんじゃないかな。そうか。ラーメンか。醤油ラーメンな。

羽後 高山のラーメンは細いよね。それで、ちょっと縮れた感じ。多分駅前とかなんかにもあったし、おいしいところをいろいろ聞いて。

?? 昔の中華そば風だもんね。

羽後 そうそう。

学生 地図にしてみたんですけど、結構町の中にあっただなという感じです。

?? 俺、調べたら、日本一のメンチカツっていうのが出てきたんだわ。

羽後 飛騨牛で。

?? そうそう。

羽後 飛騨牛コロッケというのじゃないかな。

?? そうそう。飛騨牛コロッケ。聞いたことはあるんだけど、食べたことはないんだわ。だから、もし行けたら、あれを食べながら歩くと、きつとうまいぞ。寒いし。

学生 そうですね。確かに、あったかいですもんね。

?? 手が熱いからさ、ふーふーとやって。

?? あなたたちはここへ何回も行っているわけですか。

学生 いや、1回。

?? 1回だけか。もっと行かないかんよね。

羽後 それは学年によっていろいろな人がいるから。

?? 何年生ですか。

学生 2年生。

?? じゃあ、まだまだある。これからじゃん。そうかそうか。高山ラーメンね。

羽後 いろんなところと比較しているのがすばらしかったですよね。日田とかを天領であれするとか、犬山とか、ちょっとそれは考えつかなかった。

?? そうだよな。よそのいいところと悪いところとか、取り入れられるところとか、そういうものは、やっぱりほかを見て初めてわかるからね。

学生 みたらしを食べたりとかしました。

?? 橋の近くの小さいところやろ。

学生 そうそう。

?? やっぱりな。

学生 あと、夕飯は飛騨牛でした。

?? 結構豪華じゃん。

?? ここへは行きましたか。素敵だよな。

学生 はい。すごい幻想的な感じで。
?? だけど、これで40グラムぐらいかな。
学生 でも、まあまあありましたよ。
?? そうか。じゃあ、もうちょっとあるのかな。それぐらいあればね。
学生 あと、和菓子屋さんでモンブランを食べました。
?? 栗だから。そうか。もし行くんだったら、卯さぎっていう喫茶店が結構雰囲気いいんだわ。僕もうちの奥さんと2回ぐらい行っておるんだけど、うちの奥さんが最初に調べたの。その喫茶店がちょうど宮川朝市の1本入ったところのこちら側にあって、今度行くとき、その喫茶店いいと思うよ。値段もまあまあ安いし、ぜひ。
学生 ありがとうございます。

?? ハスカップ、食べましたか。おなかすきませんか。
学生 食べました。
?? ちょっと食べると、あとはおなかがすくしかないんですけど。
石橋 集合時間が昼間ぐらいだったから、ご飯を食いたい人は多いだろうから余計にね。ハスカップは久々に食べた。
学生 ハスカップ、初めて食べました。
石橋 北海道だと食べる機会あるんだけど、こっちだとなかなかないよね。北海道には、いろいろのハスカップ味とかあるから。
学生 えーっ。
学生 北海道へ行ったとき、1回飲みました。
石橋 大してうまくないでしょう。
学生 正直言っちゃうと、それは。
学生 苦小牧が有名ですよ。
石橋 よいとまけというお菓子があるんだよね。
学生 某ゲームで有名になった。
石橋 さっき初めて聞いて、なぜあんなマイナーなお菓子がコンビニで売っているのかと思っていたら、そういう理由だったのかと思って。よいとまけを最近コンビニで見かけるからさ。
学生 ウマ娘のゲームで観光大使をしている実馬がキャラ化されて、それが売れていったみたいで。それはまたこれとは違う話ですけど。
学生 専門分野やん。
石橋 ハスカップのジャムをめっちゃ塗ったお菓子だから、ほぼ100%手が汚れることで定評のあるお菓子として有名なんですよ。
学生 そういう謎のお菓子が、なぜかずっと生きているパターンってありますよね。
石橋 そうそう。でも、道民は知っているけど別に全国区では無名だったお菓子を最近コンビニで見かけるのはなぜだろうと思っていたら、ウマ娘だったっていう。
ちなみに、ゼミ的というと、これをやって調べて、それを論文にするんですか。
学生 いや、ゼミとは全然関係ない。
石橋 えっ。じゃあ、ノリと勢いなあ。

学生 前からやっていたやつを引き継いだ感じなので、問答無用で。この題名でプロジェクトが進んでいたの。

学生 私なんて、そもそも地理じゃなくて歴史をしようと思っているし。

石橋 でもこれなんだね。これは歴史なのか地理なのか、どっちなんだろうと。

学生 地理なのかな。

学生 両方含んでいるっていう。

石橋 地理的要素は強いけど、確かに。

学生 ここだけが先輩たちで、あと、この辺は私らの調べたことです。

石橋 ラーメンも。

学生 ラーメン調べました。

石橋 すごい。食べに行ったの。

学生 こことこだけ食べに行きました。

石橋 どっちがよかったですか。

学生 このチャーシューがめちゃくちゃおいしい。

石橋 確かにこのチャーシューはおいしそうだね。

学生 でも、こっちもこっちで、シンプルでおいしかったですよ。

石橋 甲乙つけがたいってやつですね。というか、こういう会話も残されるんですよ。

学生 ここのポスターの前でハスカップの話をしちゃった。

学生 みんなおなか減っているから。

石橋 ちなみに、この調べたラーメンは、別に卒論にはならないの。

学生 ラーメンは全くならない。

学生 この美濃のほうは、私、卒論で何かやろうかなみたいなことを考えています。

石橋 なるほど。美濃は、岐阜女子大学時代に、お祭りを調べに行ったけどね。

学生 近いですよ。

石橋 結構大きいお祭りでした。

?? 説明してもらってもいいですか。これはどういう感じの取り組みなんですか。その前に、とりあえず感想を言ってもいいですか。昨日これを柳谷先生と私で打ち出していたんですけど、ほかのポスターに比べると、すごい情報量だなと。こんなに写真が多いポスターなんてできるんだみたいな。

学生 末田先生の特徴な気がする。

学生 一つのパウポに5枚は写真を入れるので、遠くからはとても見えない。

学生 写真が5枚入っているパウポって珍しいですよ。

?? 本当にすごい。それで、どういう取り組みなんですか。

石橋 ラーメンを食べに行ったらいいですよ。

?? それはいいですね。名古屋ラーメンまつりは行きましたか。高山も出ていましたよね。

学生 私も行きました。高山は食べていないんですけど。

?? 本当ですか。実は私も食べていないんです。行くだけ行っただけで。

学生 写真を撮ってきました。

?? あそこでやるなら、違う県のものが食べたくて。

学生 これでしたよね。
?? そうです。豆天狗でした。ラーメン食べたいな。
学生 無性に食べたくなる。
?? それで結局何をやったんですか。
学生 高山の観光をメインでやっていたんですけど、期間が余って、1年か2年ぐらいで高山は調べ尽くしたみたいなの。それで、ほかの地域と比べようということになって。
学生 いや、もともと比べていたんですよ。年ごとに違って、今年は松阪と美濃と比べたと。
学生 これには今年の中からしか入っていないから。さっき先生が紹介していましたよね。
学生 あれが1枚目です。
?? あそこの写真、ヤバくないですか。4×5でほぼ20枚。
学生 一つの観光地で3枚ぐらい。
?? プリンターのインクが残るかなっていう心配ですよ。このポスターはすごいです。これは文献で比較していくとかじゃなくて、本当に実際に松阪市とか美濃市に行って、みんな写真を一っつと撮って、いっぱい食べて比較すると。
学生 そうです。
?? それは大変だ。
学生 松阪は授業のときにしかやっていないんですけど、美濃はご飯を食べたりとか。
?? 松阪と美濃と高山と、ざっくりどういう違いがあるんですか。
学生 松阪は観光地としてちゃんと整備されていないんですよ。お肉っていうイメージじゃないですか。
?? そうですね。
学生 でも、行ってみたら、お肉は高いお店しかないんです。豪商の町みたいなことですが、観光地としては、ほかと比べたら、ちょっと違うかなみたいな。美濃は、美濃和紙とかうだつの上がる町並みとかが有名じゃないですか。でも、大々的には宣伝していないんです。道もコンパクトで、お客さんもそんなにいないって。
?? 隠れ家、隠れスポットみたいな。
学生 行きやすい。
?? どちらも観光地としては推していないという感じですか。
学生 そうですね。
学生 松阪へは僕も行ったんですけど、最初に行く前に授業で町歩きマップみたいな2時間で回れますというマップがあって、このサイズ感を2時間で回れるのかと思って行ったら、全然広くて、回れない、回れないってなって、そこもむちゃくちゃだなと。
?? 車で2時間で回れるとか。
学生 でも、車なんか面倒くさいでしょう。
?? 地元の人には回れるんでしょうね。
学生 周りを見ずに、さっさと歩いていくしかない。
?? 見るのはこことここここ！みたいな。
学生 ここは、長良川鉄道で。行って降りたら、えっ、どこなのって。
学生 ちょっと歩いたらわかりますけど。
?? 風情のある感じですよ。

学生 でも、私はこの三つの中だったら美濃が一番。人もそんなにいないし。

?? 私は岐阜の土岐なんですけど、美濃と高山とどっちへ観光に行くかといったら、高山へ行きますね。観光地って感じじゃないですか。

学生 休む場所もあるし、リラックスできるし。

学生 確かに。

学生 松阪に言及してくれる人はあまりいないから、ちょっとうれしい。でも、これはちょっとわかりにくいんですね。駅前にある看板なんですけど、ものすごく小さくて。すごく便利なマップなのに、QRコードちっちゃ！みたいな感じになっていて。

石橋 QRコードが目立たないんだね。

学生 そうなんです。だから、めっちゃいいマップがあるのに、もったいないなみたいな感じがします。

石橋 続きはこちらで、みたいな感じで。学生さんがそういう卒論を書いていたけどね。どうやったら紙媒体のメディアからうまくデジタルメディアに持っていくか、どういったポスターだとそのQRコードにアクセスしたがるか、みたいな。

学生 それは気になりますね。ぽっとQRがあっても、読み込んでくれる人がどれぐらいいるのか。

石橋 アクセス数は、多分ログをとれるんだけどね。

?? こういうものは役所にインタビューに行ったりするんですか。

学生 それは松阪のものですね。松阪自体は、私ら生徒はあまり行けていないんですけど、先生は観光課とかに行っているいろんなことを。伊勢商人ってあるんですけど、結構その中でも松阪って主の町で、三井家とか長谷川家とか、東京の本店が結構あったりして。

?? 三井は結構有名ですよ。

学生 そうですね。でも、いまいち三井家のあれは残っていませんでした。この辺は割と残っているんですけど。

?? 2年生ですか。

学生 はい、全員2年生です。

?? 2年生だったら、全部の調査に入るわけじゃないですよ。松阪なら松阪と。

学生 今年の分ということで、ここに書いてあるものは全部私らもかんでいたりするんですけど、この辺はちょっと。本当は全部知っている人がいたんですけど、熱を出して欠席しちゃっているんです。

?? 私があまり観光課に聞いていないからピンと来ていないのかもしれないんですけど、松阪牛の肉っていうのは、どちらかという、ちょっと古い感じじゃありませんか。

石橋 僕から見ると、北海道でいう白い恋人みたいな。

?? そうそう。どちらかという手あかがついたブランディングな感じなのに、またそちらに戻るってところが、私としては、やや不思議なんですよ。

学生 確かにそうですよね。

?? どうしてそうなのか。簡単だからかしらね。

学生 知名度があるのでといった意見もあって。

- ?? そうですか。
- 学生 ただ、肉の町とは言っているんですけど、松阪にという観光としては、若干ちょっと手堅過ぎる感じかな。あまり細々したものより、すき焼きとかにいつてしまう。
- ?? 和田金とかね。だから、豪商の町だと、来てくださいという感じよりも、何となくお金を落としてくださいと消費を促すっていう。
- 学生 ただ、松阪牛のイメージが本当に強いじゃないですか。でも、松阪って、松阪豚も鳥のみそ焼きもあるんです。
- ?? 松阪豚っていうのがあるのね。じゃあ、肉って出ても、松坂牛とは限らないんですね。
- 学生 そうです。豚も鳥もあるっぽいんです。どうも案外地元の人は鳥のみそ焼きとかを食べるみたいで、そんなことも一括で推したいということもあるのかもしれないとは思ったりするんですけど。
- ?? 海外の中国系の大金持ちだったら、高級な松阪牛にも来るけれども、一般の人はね。
- 学生 そうなんです。やっぱり私ら世代がふらっと来て行けるようなところが欲しい。
- ?? おもしろい。
- 学生 モー太郎弁当とって、牛の形をした弁当とかは。
- 学生 あれは昔からあったよね。
- 学生 駅弁を売っている人が観光系のボランティアをして全力でアピールしていて、この前行ったときも、地元の方っていうのが結構強いイメージがしました。市がちゃんと対応してそれを受け止めているかどうかというと、ちょっとというところがあるけど。パワーがあり過ぎる。
- ?? そうですか。松阪を観光する人って、全国から来る感じですか。
- 学生 まだまだあまり観光という感じじゃなくて、住む町かなみたいな感じが大きいのと、商店街とかも活気がない。やっぱり活気のない町という感じがあるのかなと。
- ?? 私は昔、名古屋から行ったときに、体験をやりたいとって、近くでこういう古い町並みのところでというと、結構名古屋から来られるということ。
- 学生 行きやすさというか、アクセスのしやすさは、やっぱり高山とか美濃とかと比べると断然行きやすいのかなと。まだまだ発展の余地はあるのかなという感じがしています。
- ?? あっちも見ますね。こちらは美濃ですか。
- 学生 そうですね。ここからここまでが美濃です。
- ?? 美濃は有名ですよ。
- 学生 そうです。世界的に有名です。美濃和紙が岐阜の伝統工芸品の和傘にも使われていて、レッドデータブックというやつがあって、違う特産物につながりがあるみたいなことをこれで初めて知って。
- ?? レッドデータというと、なくなるというような。
- 学生 多分その意味も込められているのかなと思います。
- ?? ちょっと外れているようなところも含めて重要なんだというのは、本当に新しい視点ですね。
- 学生 にぎわいだけではなくて、住民の人たちが暮らしやすいような静かなまちづくりもみたいな感じ。
- ?? こちらのプロジェクトの持続可能な観光というのは、どういうことなのでしょうね。

学生 犬山のお祭りとか、住民の人たちが守っていついて、美濃は大々的には観光をやっていないんですけど、それも住民たちと共存できるような観光づくりなんじゃないかみたいな感じで、そういうものが持続可能な観光なのかなと。

?? やっぱり、観光、光を観るって、自分たち自身がその地域の光が何なのかを知っていくことなんでしょうね。勉強になりました。

学生 こちらこそありがとうございました。



ポスターセッションの様子